

令和4年度事業計画

一般財団法人
中央工学校 生涯学習センター

1. 令和4年度事業運営及び経営の基本方針

本法人は、一般社会人及び青少年等に対し、知識、技能を習得するための学習機会を提供し、技術・技能等の各種通信教育他を実施する一般財団法人である。

主として公益目的事業である文部科学省認定社会通信教育事業と、文部科学省後援トレース技能検定試験およびその他講座のほか、不動産事業を実施している。令和4年度の基本的方針を次のとおりとする。

- ・ トレース技能検定試験受検者の確保
- ・ 宅地建物取引士講座の充実
- ・ 新規開発講座の検証（ペン字講座）
- ・ 不動産事業の継続
- ・ 中央工学校への統合に向けた具体的計画

2. 公益目的事業の実施

(1) 通信教育課程

ア. 文部科学省認定講座

(ア) 宅地建物取引士講座

- ・ 計画数
一般 10名・集団 310名
- ・ 実力診断テスト
受講予定数 30名
- ・ 機関誌の発行
ザ・ホームスタディを4・7・9月に発行

(イ) 漢字検定ゼミナール

- ・ 計画数
全教程 5名・2級 50名・1級 5名

イ. 社会通信教育協会認定講座

新・風景写真塾

- ・ 計画数 20名

(2) 通学講座

写真（撮影会・講評会）

- ・ 計画数 50名（延べ数）

3. その他事業の実施（収益事業）

(1) 文部科学省後援検定試験

第51回トレース技能検定試験を実施する。計画受検者数は次の通り。

級	計画受検者数	検定料
1級	250名	5,500円
2級	1,250名	4,500円
3級	4,000名	3,500円
4級	1,200名	2,500円
合計	6,700名	

※検定料は令和3年度に改定を行った。

(2) 社会通信教育協会認定講座

ペン字講座 計画数 200名

令和4年度新規事業としてスマートペン字講座を開講する(別紙参照)。

(3) その他の講座

ア. キャリアアップセミナー

中央工学校人材育成後援会会員企業に向けた、キャリアアップセミナー(建設業特化型公開講座)を実施する。計画数は次の通り。

- ・新入社員対象 6月 計画数 25名
- ・管理職対象 11月 計画数 25名

イ. 写真オンライン添削

講評のみの希望者に向けた、テーマ別オンライン添削講座を実施する。

- ・計画数 20名

ウ. スマホで撮る建築写真講座

中央工学校在校生向けに「スマホで撮る建築写真講座」を開講したが、コロナ禍により令和4年度は中止する。

(4) 提携講座募集業務

行政書士講座(一般財団法人日本経営教育センター)・登録販売者講座(一般財団法人公開経営指導協会)について、主催団体と提携して募集業務を実施する。

(5) 不動産事業

中央工学校10号館に隣接する情報館(RC造5階建)を(一社)動物看護職協会(3階)、(一財)日本経営教育センター(2階・4階)と賃貸契約し、不動産事業を実施する(1・5階については生涯学習センターにて自己使用)。

以上